

平成28年度小牧市歴史館運営委員会議事録

- 1 開催日時 平成29年3月21日(火) 午前10時から11時30分
- 2 開催場所 小牧市役所本庁舎4階 404会議室
- 3 出席委員
池田洋子 浅井啓介 和田学
山内均
- 4 説明のため会議に出席した者
文化振興課長 村田吉隆 文化財係長 浅野友昭
文化財係嘱託 中村麻里
小牧市施設活用協会 主査 清田憲司
- 5 報告
(1) 小牧市歴史館の運営状況について
(2) 小牧市歴史館企画展示について
(3) (仮称)史跡センターについて
- 6 議題
平成29年度小牧市歴史館企画展示(案)について
- 7 会議資料
議事次第
小牧市歴史館運営委員会委員名簿
小牧市歴史館の設置及び管理等に関する条例(抜粋)
小牧市歴史館の管理等に関する規則(抜粋)
資料1 小牧市歴史館の運営状況について
資料2 小牧市歴史館の企画展示について
資料3 (仮称)史跡センターについて
資料4 平成29年度小牧市歴史館企画展示(案)について
- 8 会議の傍聴人 なし

(午前10時00分開会)

事務局（浅野文化財係長）

ただ今から平成28年度小牧市歴史館運営委員会を開催いたします。

本日はご多忙のところ、ご出席いただきましてどうもありがとうございます。

会議に先立ちまして、西川委員より欠席のご連絡がありましたことをご報告させていただきます。また、年度末ぎりぎりの開催となり大変申し訳ございませんでしたが、本年度が第1回目の会議ということになります。昨年まで、校長会代表としまして、大藪委員にお願いしておりましたが、今年度に入りまして、篠岡中学校の和田先生に委員をお願いすることになりましたので、ご報告させていただきます。

なお、この会議につきましては、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開するものとしておりますが、本日は傍聴者はございませんでしたので、ご報告させていただきます。議事録につきましては、発言内容、お名前とも、小牧市のホームページにて公開しますので、ご承知おきください。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第の1としまして、文化振興課長の村田よりごあいさつを申し上げます。

事務局（村田文化振興課長）

おはようございます。今年も一年終わりを迎えました。本来であればこの会議をもっと早くやらなければならなかったことをお詫び申し上げます。歴史館入館者数ですが、歴史館が出来た頃が7万5千人くらいで、今年すでに7万2千人くらいでして、今年桜が早く咲けば初の7万5千人を超えたトップの入館者数になるかというところまでできております。指定管理の小牧市施設活用協会も含めていろいろと努力をしているところであります。ただ、状況が変わってきておりまして、史跡センターが平成30年に出来上がります。そうすると、史跡センターと歴史館との役割分担であったり、どのように連携をとっていくのかなどいろいろと考えていかなければならないことがあります。また来年度の企画展について、のちほどお話をさせていただきますが、メナード美術館と連携をとって新しい形で、今後財団が出来るということもありますので、市の新しい形としてメナード美術館と連携をとって歴史館も動いていこうとやっついこうという動きがでております。ありとあらゆるいろいろな方向で手を尽くしながら、歴史館へ多くの方がお越しただけるといいなと思いますので、ご協力をお願いいたします。本日、議会中でございますので、このあいさつで失礼させていただきますが、よろしく願いいたします。以上です。

事務局（浅野文化財係長）

続きまして、次第の2「委員長あいさつ」ということで、池田委員長よろしくお願いいたします。

委員長（池田委員）

おはようございます。今年も是非歴史館へ多くの方に来て欲しいと思います。さきほどのごあいさつの中にもありましたが、今回最多の人数になるかもしれないという期待がこめられておりますが、桜の開花がもう少しあとかなという気もするのですが。史跡センターという新しい内容を持っている建物とそれに対する歴史館がどのような位置付けになるのかをもう少し話し合っただければありがたいと思います。本日はみなさんよろしくお願いいたします。

事務局（浅野文化財係長）

ありがとうございました。

それでは、議事に入りますけれども、さきほど課長からお話がありましたように、本日議会開催中、委員会開催中ということもありまして、教育長以下そちらに対応しております。また、課長もこの後、議会に出席ということで失礼させていただきますので、よろしくお願いいたします。

ここからの進行は、池田委員長にお願いします。

委員長（池田委員）

それでは、次第の3「報告」に入ります。報告（1）「小牧市歴史館の運営状況について」事務局からの説明を求めます。

事務局（清田主査）

（資料1に基づき報告）

委員長（池田委員）

ありがとうございました。事務局からの説明は終わりましたが、これより質疑に入りたいと思います。何かご意見やご質問がありましたらよろしくお願います。

山内委員

甲冑試着会はどのような方をお願いしているのですか。

事務局（清田主査）

昨年まで犬山の甲冑同好会に所属している、小牧在住の方をお願いしていま

した。たまたまその方が売り込みに来てくださったことがきっかけではじめました。

山内委員

本物の甲冑ですか。

事務局（清田主査）

アルミに塗装をしたものです。

山内委員

世の中にはダンボール甲冑などがあり、ダンボールも良いと思います。アルミということで、犬山系統のものは高いけどかなり良い物ですね。

事務局（清田主査）

遠目で見ると本物に見えて、持つと軽いです。

山内委員

ダンボールの方がもっと軽いです。

事務局（清田主査）

お願いしていた方は、今年度いっぱい犬山を辞められて、小牧で活動をされるそうです。

山内委員

いいですね。ご紹介いただいて、観光協会でもそういったイベントで是非お願いしたいです。西尾も豊明もやっています。あのあたりはダンボールかもしれませんが。

茶会は誰がされるのですか。

事務局（清田主査）

茶道連盟です。

浅井委員

8月9月の夜間開放がありますが、小牧山から花火が見えることはないですか。

事務局（清田主査）

見えます。

浅井委員

春日井、犬山、名古屋港まで見られると思うのですが、小牧山から花火を見ようといった案内をしてはいかがでしょうか。2箇所同時に見られるかもしれないですね。

事務局（清田主査）

見れる時もあります。

浅井委員

そういったお金をかけずに売り込むといったことをすると意外とおもしろいかもしれません。

委員長（池田委員）

是非そういったことをしていただけるといいかと思います。

浅井委員

結局それが小牧山城としての機能だと思います。あっちで狼煙が上がりこっちで狼煙が上がり…当時と同じ考え方で、今は花火しか上がりませんが、歴史とつなげていけると。これだけ見られるんだと子どもさんが感じられればいいのかなと思います。

委員長（池田委員）

2つ伺いたいのですが、甲冑試着会は行けば着られるものですか。

事務局（清田主査）

行けば着られます。

委員長（池田委員）

そうすると事前の申込みというものはないのですね。今年度、お茶会が安くできたから2回開催したということですが。

事務局（清田主査）

以前はイベント業者に委託していたものを、今年度から直接茶道連盟と契約

するようにしたところ、半分くらいの額でできるようになりました。イベント業者の方も儲けが少ないためか嫌がって、見積徴収しても辞退するところが出てきたため、直接契約するようになりました。

山内委員

甲冑の試着会ですが、大人と小人それぞれ何着あるのですか。

事務局（清田主査）

大人2領、小人4領です。

山内委員

つける人は何人ですか。

事務局（清田主査）

5人です。人手が足らなければ、自分も小人用でしたら着せられるので対応します。

山内委員

そうすると同時に6人対応できるのですか。

事務局（清田主査）

サイズが全員違えば対応できます。

委員長（池田委員）

行けば着られるということですが、ネットなどで申し込んで来てもらう形にすると宣伝効果があると思うのですが。

事務局（清田主査）

以前、宣伝を行ったところ、スタッフが手に負えないくらい多くの方がいらっしまったことがありました。なので、お越しいただいた方をおもてなしするという主旨のもと行っておりますが、それでも50人くらい来てしまうとかなりの労力です。ただし、歴史館ホームページで告知はしています。

委員長（池田委員）

手に負えないほどの人数が来るのは大変ですね。

事務局（清田主査）

以前に、甲冑の数を増やす話もありましたが、スタッフもその分増やすことになり、また、試着の待ち時間がそのサイズによって違うとごった返す恐れがあります。お子さんを待たせてしまうことにもなるので、PRは行っていません。

委員長（池田委員）

甲冑やスタッフを増やすと費用も発生しますし、お子さんを待たせてしまうことになりますよね。現状どおりPRはしない方向ですね。

小人とありますが、いくつくらいから着られるのですか。

事務局（清田主査）

2才くらいから子ども服の160cmくらいまで用意があります。160cmでしたら大人の女性でも着られます。

委員長（池田委員）

甲冑試着会は大変ですよ。

ありがとうございました。

続きまして、報告（2）「小牧市歴史館の企画展示について」事務局からの説明を求めます。

事務局（清田主査・中村）

（資料2に基づき報告）

委員長（池田委員）

ありがとうございました。それでは質疑を行いたいと思いますが、ご意見などはございますか。

和田委員

運営状況についてですが、月ごとの入場者数は気候が関係してくると思います。ひなまつりの企画展の報告がありましたが、5月は男の子の節句ということで甲冑試着会などに関連付けたりして企画できると、ポピュラーな行事になっていくのではと思いました。旧家などで眠っている人形などはいっぱいあるのではないかと思いますので、寄贈いただいたりして、なるべくお金をかけずにできるといいかと思います。

山内委員

企画展は、基本的に年間何本行うのですか。

事務局（清田主査）

夏に子ども向け、秋に一般向けの計2本を行っています。

山内委員

企画展「ひなまつり」は初めてですか。

事務局（中村）

初めてです。

浅井委員

最近 SNS などではありますが、写真を撮っても良い場所や撮影おすすめスポットみたいなものがあると、つぶやいてもらえるのではないかと思います。どこに行きました何を食べましたなど印象付けられるようなものを、お金をかけずにできるといいかと思います。

企画展「ひなまつり」は徳川美術館などと差をつけなければならない。向こうにはやれないことをやるとなった時に、例えば食事に注目して、和菓子屋さんにも協力いただいて花見団子や菱餅、ひなあられなどを出せたらいいと思います。

委員長（池田委員）

それは売るのですか。

浅井委員

露店で売ってもいいと思います。

事務局（浅野係長）

現在、館内は撮影禁止となっております。個人所有のものもあり、その方の了承を得る必要があるためです。ただ、ガイドをしていただいている方からも撮影についての問い合わせがありますし、他の博物館・資料館でも館内撮影可というところも多々あります。その場合ですと、これはいいですかフラッシュを使うことで史料が痛むものはだめですといったような制約はあります。別の課にはなりますが、来年度か再来年度に、観光の観点から館内 Wi-Fi を歴史館へ設置しようという動きがあります。そうなりますと、より観光客が増えてその方々が館内などで撮影したものをフェイスブックなどに載せる可能性も考えられますので、館内の撮影につきましては、撮影可のマークをつけるということも来年度以降考えていきたいと考えております。

二番目におっしゃられた飲食の関係ですが、現在館内では禁止となっております。

ますが、時期に外でお団子屋さんなどを出すとか観光協会さんなどと協力しながらやっていけたらと考えておりますので、今後検討していこうと思いますのでよろしくをお願いします。

委員長（池田委員）

例えば顔をくりぬいたおひなさまのパネルで写真を撮ってもいいとか、この場所では撮影できるとかそういったことはできると思います。だまって写真を撮られちゃうんですね。SNSに載せられていて気づくというか。撮影にあたっては、個人所有のものもあるので、許可をもらうという難しい点はあると思います。

食べ物の問題ですが、（仮称）史跡センターのところでは常設ではありませんが、車で来てお店を開いてもらうという話がありますが、歴史館までは車で上がれませんよね。

事務局（浅野係長）

基本的には、山自体が車の進入は禁止です。それは環境保護の面もありますし、史跡ということで、一般車両が通ることによって路面が痛む恐れがあるため、管理車両以外は史跡の中への進入禁止と謳っています。麓のあたりであればさくらまつりや市民まつりなどのイベントもありますので、車両の乗り入れはありますが、山頂はスペースの問題もあるので、絶対だめかと言われればだめとはいませんが、基本的には車両の進入は禁止となっているので、検討がいるかと思います。やるならばきちんと計画を作って遺構に影響はないということをきちんと言えれば可能ではないかと思います。

委員長（池田委員）

検討していただいてみなさんの便宜を図っていただければと思います。

ありがとうございました。

それでは報告（3）「（仮称）史跡センターについて」事務局からの説明を求めます。

事務局（浅野係長）

（資料3に基づき説明）

委員長（池田委員）

ありがとうございました。何か質問等のある方はいらっしゃいますか。

史跡センターと歴史館の区分につきましては決まっていましたか。

事務局（浅野係長）

ある程度、基本設計や基本構想の段階で区分の素案は決まっています。現在、歴史館にある佐久間石を史跡センターに置くことなどは決まっておりますが、どうしても同じテーマを取扱いますので、そのあたりの区分け、あるいは現在の歴史館の展示が今のままでいいのかなどありますけれど、30年度に史跡センターがオープンしたら歴史館の機能の見直しが必要になってくるかと思いません。基本構想や基本計画を作って大規模に行うのか、一部改修になるのかということも含めて検討していきたいと考えています。

浅井委員

時代背景が戦国時代中心という「史跡センター」と、小牧全体の歴史を取り扱う「歴史館」ということですね。

事務局（浅野係長）

史跡センターは、小牧山の紹介ということですので、例えば小牧山に市役所を造ったということも小牧山の歴史の一つなので、戦国時代以外を必ずしも展示できないというわけではありません。常設展示室を出た廊下のところにある小牧山ヒストリーのところで、原始から近現代の紹介をする中で市役所や中学校、歴史館を造りましたということを紹介させていただけるかと思いません。

浅井委員

企画展示室はそのテーマにあったものしかできないのですか。例えば文化協会が使うことはできますか。

事務局（浅野係長）

基本的には、小牧山を紹介するガイダンス施設になりますので、ここで企画するものに関しては小牧山に関するものになるかと思いません。例えば小牧山の風景を撮った写真展やイベントでしたら、小牧山を紹介するものになりますので、使用は可能になるかと思いません。小牧山とは関係のない山の写真や絵を展示するとなると、本来の目的と違ってくるため、難しいかと思われます。

山内委員

歴史館では、斬新なアイデアで小牧全体を高めるのもいいですけど、何か一つ、そこへ行って見られるものがあるといいなとこれは要望です。史跡センターでも歴史館でも企画展示をやっているという状況だと、住み分けをしっかりとってもらいたい。例えば野鳥などを中心に行うとか。そして、企画展を3本くらいやって、そこである程度見せれるものが一つあって、そして全体的に見

れるといいなと思います。ガイドに歴史館に連れて行ってもらって、歴史館いよと言ってもらえるように。城めぐりとして重要にして、財団になったらきちんとしてもらいたい。観光協会に土岐石を持ってきた方がいましたが、そういったものを小牧山に展示したらおもしろいかと思います、ひな人形みたいに。みなさんに企画展を募集するのも面白いかと思います。平成29年度は今まで通りで、そのうち財団が指定管理になるだろうと思いますのでそうになったら、予算をつけて一生懸命やればいいのかではないでしょうか。

事務局（浅野係長）

どこがということは確定ではありませんが、4月から財団が立ち上がって、今は施設活用協会に指定管理ということで受けていただいておりますが、平成29年度に4年間の指定期間が切れますので、30年度からは新しく財団にという予定をしております。その中で、いろいろ検討していくことになるかと思えます。

和田委員

新しくできる史跡センターと歴史館へのアクセスはどうなりますか。

事務局（浅野係長）

史跡センターの建物西側に道がつきます。現在は、市役所が以前建っていたところのすぐ東側に車で上がれる道があるのですが、実はその道は後から造ったもので、昭和2年の地形図を元にしますと、今よりもう少し東側に、史跡センターの横を通っていく道が本来あったということがあります。今ですと歴史館へ行くのは大手道を登って行くルートかぐるっと山をまわる道などいろいろな道がありますが、そこで、もうすぐ旧本庁舎跡地で行っていた工事で土塁や堀などが完成しますが、その後センターも造ります。センターと旧本庁舎跡地の間に道があるのですが、この部分を発掘調査して、土塁と堀をつなぎます。つなぐ前にこの道を新たに造って道の付け替えがされます。今ある登山道を東にずらす。入口がアピタの前のところに付け代わります。入口から史跡センター横を抜けると、桜の馬場につながる。今後はここが車の通れる道となるのですがここを通っていただくか、大手道は今まで通りですのでそこを通っていただくかというアクセスになるかと思えます。

和田委員

センターができると、ここと歴史館のアクセスというのは歴史館の生命線になると思う。山に登られる方が望まれるのは眺望がメインになってくると思う。

小牧山のメインとなるものが全部センターに来てしまう。発掘調査をして、かつての状態というのを見ながら登っていけるような形というのがあれば上に登っていこうという意欲になるというか、そういったものがないと歴史館はとも危うくなってくると思います。

事務局（浅野係長）

センターは小牧山を紹介する建物ということなのですが、山頂部分で発掘調査が行われて様々な情報が分かってきたということがあります。今後2～3年ほど山頂で発掘調査をして、その後山頂部分の史跡整備を行う予定をしております。山頂にはどこまで復元するのかという議論があります。石垣を積んでしまうと偽物を造るということになるという意見もありますし、今のままだとすると例えば本当は10段あった石垣が今は2段しかないとかいうこともあり、いろんな復元の方法がありますので、それは今後検討して整備していきます。考え方として、センターでは本来こうであったということを見せたい。そして、山頂へ行けば本物が見られる。偽物ではないですけど、情報を仕入れて現地へ行こうというような流れを考えておまして、センターで本来こうであったということを知っていただいて、現物を見に行こうということによって山頂へ行っていただいて、整備した姿を見ていただくことを考えています。その中でよく言われるのが、信長や家康の気分になって山頂から見ようということで、歴史館で小牧の歴史を知っていただいて帰っていただくことを考えていますので、センターが出来たからといってそこで終わりというわけではなく、有り方としては両方セットで考えていきたいと考えております。まだ決まっておりませんが、共通入館券を作るだとか歴史館に行けば何かをもらえるということも今後検討していきますので、センターができたから歴史館は知らないというわけではなく、連携という形をとっていきたいと考えています。センターは小牧山のための紹介ですが、歴史館は小牧の歴史なので、歴史館内の小牧山コーナーを縮小したところで、さきほどのお話にもありましたように、民俗資料の展示をしたりして、センターで展示のできないものを展示するといった住み分けをしながら行っていきたいと考えております。

委員長（池田委員）

眺望の面ですが、城下町部分の発掘についての概要はわかっているのですか。

事務局（浅野係長）

部分的です。

委員長（池田委員）

透明フィルムなどを通して今の街が見られるように、昔はこうだったけど今はこうだというのが、歴史館に上がれば城下町の様子がわかるといったようなものを一枚窓のところにでもシールを貼っていただけるといい。シールなので、いつでも更新できる。そういったものがあれば、信長の城下町計画というものがわかるものがあるとおもしろいかなと思います。

山内委員

観光の観点から、城が本物かどうかは別として、旅行会社などでテーマ別でツアーが組まれてやってくる。歴史館はガランとして眺望しかないというのはさみしいですので、信長の城下町の何かを置いておくとか、そういったことはセンターで全部行ってしまうのですね。

事務局（浅野係長）

センターの中では、城下町も信長が作った城とセットということで、計画ですけれども、大きな模型に映像を投影して、現在、過去…といったように映像上に変遷が出るような仕組みのものを検討しています。歴史館の中にも多少ありますし、さきほど委員長のお話にもありましたように、歴史館からの眺望というのもそうだなと思いました。だいたい先になるかと思いますが、ARやVR技術というものがあって、タブレットをかざすとそこにうつるといったものがある。技術的にどうかわかりませんが、おもしろいなと思いましたのでいろいろ研究していきたいと思います。

浅井委員

小牧山や歴史館を見た時に感動する。10代の頃宇和島の方に修行に行きまして、高速で帰ってくると必ず小牧山と歴史館が見える。とてもシンボリックなんですよ。それは歴史館にあってセンターにはない。いいか悪いかは別として山の上にあるというのが印象的です。どんな有名人でも高速を通れば見るでしょうし、それは歴史館のおもしろさだと思う。どうしても入館者数を、数字で上げないといけない世界なので、ギャップがあるのですが、みんなの心の中にある、小牧山の上にある歴史館はとても大事だと思います。住み分けとして大前提なのは、シンボリックとしての歴史館、そして新しい施設であるセンターというのは考え方の元にしていった方がいいのではと思います。

山内委員

史跡センターは、入場料はとるのですか。

事務局（浅野係長）

今後検討していきます。施設の運営も含めて条例化をして、その中で決めていきます。

山内委員

歴史館も含めて検討していくわけですね。

事務局（浅野係長）

そうです。歴史館もそうですが、条例の中で入館料も決められていますので、さきほど少しお話ししましたが共通入館券なども含めてその中で決めていきます。現在は入場料をとるかとらないかを含めて検討中です。

委員長（池田委員）

ひなまつりのところに、ひな人形の道具類がありますよね。道具類は今の人たちは見たことがないですね。長持だとかお籠だとかそういったものがもしもあれば、ひな人形とタイアップして展示すると、これが本物だとわかる。小さなお子さんだとわからないですね。長持は江戸時代前期にはあるのですが、中期以降には箆笥に代わってきたため、あまり作られなくなった。そうするとおうちに長持があるところは少ない。もちろん旧家には残っているかもしれないので、今なら手に入るかもしれない。それ以外でもあれば、民俗資料として少しずつ集めていただいて歴史館に展示できればと思います。ひな人形は想像上のものではなくて、実際のを小さくしたものであることがわかるかと思います。

他にご意見やご質問はありませんか。

最後の議題にうつります。議題「平成29年度小牧市歴史館企画展示（案）について」事務局から説明を求めます。

事務局（清田主査・中村）

（「資料4」に基づき説明）

委員長（池田委員）

ご質問などはありますか。

山内委員

メナード美術館との連携企画ですが、メナード美術館と企画展の期間を合わせることはできないのですか。

事務局（浅野係長）

メナード美術館ですでに決まっていた企画の中で、今年度歴史館企画展でご協力いただいた清水豊先生から急遽花のお写真をお借りして行うということになりました。広報関係を含めまして日程をあわせることができなかつたので、少し複雑ですがこういった形で行わせていただこうと思っております。

委員長（池田委員）

夏は小牧山城の歴史の探検ということでお子さん向けなのですね。マップを兼ねたパンフレットを作成するとありますがどこのマップですか。

事務局（清田主査）

小牧山全体です。土塁や井戸などの遺構などを紹介していきます。

委員長（池田委員）

これを見て実際に山を見てまわることができるという企画ですね。小牧山の紹介ということですが、信長にターゲットを絞っているのですか。

事務局（清田主査）

小牧・長久手の合戦の際に改修された土塁や堀も紹介する予定ですので、信長だけではありません。

委員長（池田委員）

子ども向けの企画というのは小・中学生ですか。

事務局（清田主査）

小・中学生です。

委員長（池田委員）

一つお願いしたいのが、小牧山の位置というのが、戦国時代の信長や家康にとってどのような位置だったのかということがわかるようなパネルであったり床に貼りつけるものなどがあって、今自分が立っているのはここで、信長はこれから京都に向かいたかったんだとか、信長は岐阜にお城を造ったんだとか家康はどこにいたとか、子どもは地図が得意でない人が多く、わからない人のためにもそういうものがあるといいかと思えます。できれば床に貼りつけるもののほうが良いかと思えます。小牧山自体がもう少し身近なものになるような気がします。

浅井委員

おもしろいですね。天下人の目になれるということは夢がありますよね。できるだけ安くできるといいですね。床に貼りつけた地図の上に乗ってその人の目になってみたいですね。

委員長（池田委員）

小牧は戦争中どうだったのですか。爆撃は受けたのでしょうか。

事務局（浅野係長）

大きな空爆があったとかはないですが、名古屋を攻めた帰りに寄ったということはある、爆弾を落としたり、機銃掃射をしたりして短期でのことで亡くなった方ももちろんいらっしゃいます。小牧山自体に防空壕なのか地下壕なのかを西の方に作ったりとか山頂に監視所があって、兵隊道がそうではないかとかそういった歴史はあります。昭和2年の国指定史跡とは関係なくなるのですが、ただその頃のことということややるべきなのかということや事務局の中でもどこまでやったらいいのか、戦争の紹介になってしまうのか当時の暮らしはこうであったと関連させるのかなどいろいろご意見をいただけたらと思います。

委員長（池田委員）

実際に山がどう使われたということですね。

事務局（浅野係長）

そうなってくるのか、どういう切り口でいくのか。90周年記念ということではあるのですが、少し悩んでいるところです。

山内委員

史跡の調査はもう30年くらいやっているのではないですか。

事務局（浅野係長）

古いところだと、小牧山の北側の緑地部分ですとか、駐車場部分があって、少し空いて、元の中学校部分の調査があり、同時期に城下町の整備調査があり、ということでそのあたりを含めると30年近いかと思います。

山内委員

観光協会に、30年くらい発掘調査をされた人がみえまして、資料も見せていただいておりますねと言っていたのですが。

委員長（池田委員）

そういったものは見たいですね。どれくらい時間をかけてそういったお仕事をしているのかということ。市が行っているのですよね。

事務局（浅野係長）

小牧山の調査については、市の直営で行っています。

和田委員

昭和の前半だと、軍事拠点として、西林寺にある渡辺錠太郎の銅像がかつて御幸橋を渡ったところにあつたとか聞いているし、陸軍大演習の時には大本営みたいな形になったという話もありますが、そこに焦点を当てちゃうと小牧山がぼけちゃう。かつての写真の展示ということと、史跡が軽んじられていた時代、小牧中学校を造る時も、米軍のブルドーザーで一気に史跡を壊した上で造られていることが50周年誌なんかを見るととても発掘ではないような形でやっているので、そこから今のような形の小牧山というものを見つけ出して、さきほど言われた発掘の歴史に結びつけていく展示といった道筋も大事じゃないかなと思います。

子ども向けのものですが、来場者数の中で、小人の8割以上は市内在住だと思います。学校で使っている副読本に実際小牧山のことも書かれているので、そういったものを利用して、身近な自分たちが使っている資料の本物は実際にここにあるんだよというようにするといいかと思います。『小牧散歩』のルートを基準にして副読本を作っているはず。マニアックのなりすぎてもだめですが参考にして作っていただけるといいかと思います。

最後に、小牧山の花の企画展ですが、小牧山には虫もいっぱいいますのでそういったものもいいのではないかと思います。

委員長（池田委員）

来年度の企画展のほかに、夜間開館などは予定にあるのですか。

事務局（清田主査）

あります。

委員長（池田委員）

ではその他に企画が3つあるということですね。

他にありませんか。

それでは「その他」につきまして、何か事務局から説明はありますか。

事務局（浅野係長）

来年度の企画展につきましてご意見をいただきまして、戦争方向を重視してしまうとなかなか小牧山というのがぶれてしまうなというところではありますが、それをはずしてしまうと、小牧山の戦中・戦後というものがなくなってしまうというところで、どの程度まで扱うかというところは難しいところではありますが、企画をある程度詰めた段階で、できたら運営委員会を開かせていただいて、ご意見をいただけたらと思います。本来ですと、予算前と年度末の時期の年2回開かせていただくのが本来でしたので、今後またご相談させていただきながら進めさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

委員長（池田委員）

委員の皆様方から何かございませんか。

ありがとうございます。

それではすべての議題の審議が終了しましたので、進行を事務局へお返しします。

事務局（浅野係長）

どうもありがとうございました。

本日、議会開催中というところで、課長以上が不在であり大変申し訳ありませんでした。また来年度以降もセンターとの絡みなどもありますので、またご意見等いただけたらと思いますのでよろしく願いいたします。

これをもちまして、平成28年度小牧市歴史館運営委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

（午前11時30分閉会）